

市立柏原病院事務局 部長マニフェスト

私の思い

市立柏原病院事務局長 石井 秀幸



医師不足に伴う診療体制の縮小や平成 26 年度から予定されている消費税率の引き上げなど、自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがある。当院も例外なくその影響を受け、地域医療の安定的な供給、すなわち、診療体制の維持が大変難しい状況となっている。

またその一方で、住民の健康を確保するため、自治体病院の必要性は高く、厳しい経営環境の下で、当院も医療水準の向上と経営の安定化に向け日々邁進していかなければならない。

このような環境の中、市立柏原病院ではこれまで病院職員が一丸となって経営改善に取り組んできた。とりわけ平成 21 年度から平成 23 年度の 3 カ年間については、『市立柏原病院改革プラン』を実行し、日々経営努力を積み重ね、良質な医療を継続して提供してきたが、目標としていた平成 23 年度での不良債務の解消・収支均衡については、医師不足等様々な理由により成し遂げることができなかった。

地域医療を安定的に供給するためには、可能な限り早期に経営の安定化を図ることが必要不可欠であることは明白であり、平成 24 年度以降の新たな経営目標を立て、良質な医療サービスを提供し、地域の基幹病院として住民の期待に答えていかなければならない。

このため『市立柏原病院改革プラン』で実現済みの事項については今後とも継続して実行するとともに、平成 27 年度末に不良債務を解消することを目標とした『市立柏原病院新改革プラン（市立柏原病院八策）』を策定し、これを着実に実行することにより、地域住民に良質な医療を安定的に提供し、より地域に密着した信頼される病院を目指すものである。

重点目標

- ① 悪性新生物（がん）や心疾患等の必要度の高い医療に対する体制の充実を図る
- ② 救急医療体制の充実
- ③ 健全経営

部の施策概要

公立病院は、地域住民の医療を担うとともに、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療（高度医療・救急医療・周産期医療等）についても、提供していく必要があります。

このため、市立柏原病院は、今後なお一層、医師確保に努めるとともに、悪性新生物（がん）や心疾患等の必要度の高い医療に対する体制の充実を図り、高度医療や不採算部門である救急医療等を担うことにより、地域医療の安定的な供給に貢献し、「心あるより良い医療の提供」という基本理念のもと、全職員が一丸となって経営の安定化を図り、地域住民に対し、より安全で安心できる医療を継続して提供する病院づくりを行っていきます。

悪性新生物（がん）や心疾患等の必要度の高い 医療に対する体制の充実を図る

戦略課題の目標

- ・大阪府がん診療拠点病院の指定を受ける
- ・循環器疾患に対する検査・治療の充実
- ・呼吸器疾患に対する検査・治療の充実

施策推進上の目標

- ・関連大学（大阪市立大学・近畿大学）及び近隣医師会（柏原・八尾・藤井寺）との連携を強化し、悪性新生物（がん）の患者受け入れと治療に力を注ぐ。
また、化学療法のベッドを拡充するとともに、乳腺外来（乳がん）の枠の拡大や内視鏡（胃カメラ・大腸ファイバー）実施件数の増を図る。
- ・循環器内科医師、看護師、臨床工学技士による循環器チームを充実させ、心疾患の早期発見、心臓カテーテル検査の増を図る。
- ・呼吸器内科医師による睡眠時無呼吸検査、治療の充実を図る。

アウトプット

- | | |
|------------|---------|
| ・腹腔鏡下手術件数 | 170 件 |
| ・化学療法件数 | 1,400 件 |
| ・乳腺外来患者数 | 290 人 |
| ・内視鏡検査件数 | 3,300 件 |
| ・心臓カテーテル件数 | 40 件 |
| ・PCI件数 | 30 件 |
| ・睡眠時無呼吸検査 | 24 件 |

アウトカム

市民が安心して、高度な医療を受けることができる。

救急医療体制の充実

戦略課題の目標

- ・現在、木・土・日曜日に、内科・外科・小児科において時間外診療を行っているが、現体制で可能な部分から週1回程度の救急告示を行い、その他の曜日の時間外診療については現状を維持する。
- ・救急告示に際して地域性及び市民ニーズを考慮した場合、救急協力診療科として、内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科の5診療科を目標とする。

施策推進上の目標

- ・救急告示の指定（平成26年1月）を受けるまでに、当面、日勤帯における救急体制の整備を充実させる。さらに、救急搬送を円滑に行えるよう救急隊から救急担当医師（内科・外科）に直接電話が繋がる「ホットコール」体制を確立させる。
- ・柏羽藤消防組合、八尾、東大阪消防署との連携を強化し、救急患者の獲得に努める。

アウトプット

- ・救急受入件数 610件
- ・救急断診率 25%

アウトカム

木曜日の24時間、救急体制を充実させることにより、急に発病した場合でも安心して受診することができる。

健全経営

戦略課題の目標

平成 27 年度末までに、「経常収支の均衡」、「不良債務の解消」を図る。

施策推進上の目標

・平成 25 年 3 月策定の「市立柏原病院新改革プラン（市立柏原病院八策）」を着実に実行する。

市立柏原病院八策

- ① 医療の方向性の明確化
- ② 職員のスキルアップ
- ③ 接遇教育の徹底
- ④ 病院環境の整備
- ⑤ 診療単価のアップ、適正収益の確保
- ⑥ コストの削減
- ⑦ 広報、地域連携の強化
- ⑧ 訪問看護の取組

アウトプット

・常勤医師数	39 名
・人間ドック受診者数	1,440 名
・オープンカンファレンスの実施	132 件
・送迎バス利用者数	14,450 人
・入院診療単価	40,000 円
・外来診療単価	8,800 円
・材料費比率	20.5%
・薬品使用効率	115%
・公開講座・交流会開催回数	15 回
・患者紹介率	36%
・患者逆紹介率	31%
・訪問看護回数	12 回

アウトカム

経営の安定化を図ることにより、地域住民に対し、より安全で安心できる医療を継続して提供することができる。